

令和 3 年度事業報告書 - みくにの森クリニック -

テーマ：自然災害や感染症対策により、入所者・利用者の安心・安全な望む暮らしの支援と
地域住民と支え合う仕組みづくりを目指す

サブテーマ：多職種連携のもと、安心・安全な医療を提供する

1. 入所者の健康管理

- ① 医務室、多職種との連携を図り、異常の早期発見・治療を行うことができた。
- ② 協力病院との連携による受診・入院の際、コロナ感染対策のための事前 PCR 検査があり診察まで時間を要した。また、重症化しやすい利用者が多くなり、入院者が増えてしまった。
- ③ R4 年 1 月の新型コロナウイルス感染症発症時（入所者 6 名・職員 4 名）には、県保健センターの指導の下、感染管理認定看護師・県長寿課との合同会議の上、毎朝 8：30 より感染対策会議を開催し法人全体の情報収集と情報共有化を行い、発症から収束の期間必要な医療を提供することができた。

2. 利用者・家族との信頼関係の構築

- ① 県の行動指針に合わせコロナ禍の面会制限のため、入所時・体調変化時など早めに IC 施行し、家族の意思確認を行った。
- ② 利用者・家族の思いに寄り添い、必要に応じた医療や対応を行うことができた。
- ③ デイ利用者は主治医受診、ショート利用者は主治医、ケアマネ、相談員と連携し対応することができた。

3. 明るい職場作り

- ① 職員の健康診断を実施し、異常者には再検査や主治医受診を勧めるなど健康管理を行った。また、コロナ感染を疑う場合には、早期受診や PCR 検査の呼びかけ又、抗原検査を受け陰性確認するなど予防対策に努めた。
- ② 衛生委員会では、産業医より指導を受けた事を改善し、より良い職場環境づくりに努めた。
- ③ メンタル面では相談できる環境が十分ではなく、今後の課題とする。